

1 協議事項

(1) 副会長の選出について

(2) 交通安全課題提案型実証事業について

2 報告

(1) 小牧市における交通事故及び犯罪発生状況について 【小牧警察署担当】

年	R1	R2	R3	R4	R5
交通事故発生件数	6,337	5,403	5,512	5,785	6,017
うち、死亡事故	7	1	7	0	3
刑法犯認知件数	1,182	864	825	874	958
うち、特殊詐欺	7	23	7	17	27

(2) 令和5年度の交通防犯の取組事項について

① 交通安全対策事業について

・交通安全教室

開催回数	31回
対象者	高齢者、幼児、児童、生徒、一般など
主な内容	歩行時や自転車走行時の注意、交通ルールの説明、VR・シミュレーター等

・交通安全街頭キャンペーン等

開催回数	28回
主な内容	四季の交通安全運動、飲酒運転根絶、シートベルト着用の徹底、自転車マナーの向上・ヘルメットの着用・保険の加入、高齢者事故防止、夕暮れ時ライト点灯、夜光反射材着用などをテーマとした街頭啓発活動

・その他広報活動

- (1) 広報こまき・市ホームページ・市公式LINE・生活情報誌等による情報発信
- (2) ストップマークシールを各区の交通委員に配布し、路面に設置

② 防犯対策事業について

・防犯教室

開催回数	16回
対象者	高齢者、一般など
主な内容	住宅対象侵入盗、特殊詐欺対策、護身術等

・防犯街頭キャンペーン等

開催回数	10 回
主な内容	四季の安全なまちづくり県民運動、金融機関での啓発活動、特殊詐欺、住宅対象侵入盗等をテーマとした街頭啓発活動

・その他広報・啓発活動

- (1) 広報こまき・市ホームページ・市公式LINE・生活情報誌等による情報発信
- (2) 年金支給日に合わせた特殊詐欺防止の啓発を金融機関と連携して実施
- (3) 特殊詐欺防止用の封筒を作成し、郵便局において利用者に配布

【交通・防犯共通の啓発活動等】

- (1) 交通安全・防犯に関するポスター・標語の特別賞作品を市役所及び巡回バス「こまくる」のデジタルサイネージにて掲示した。
- (2) 名古屋経済大学と連携し、学生と協働で、令和 5 年 12 月 22 日にこども未来館において、幼児児童に向けて「キッズポリスアカデミー」を実施した。参加者約 100 名に「こども警察手帳」の作成や「体験ブース」を通じて交通防犯について考えて貰い、体験ブースを通して日頃の注意点等を学ぶことができた。



- (3) 小牧市市民会館で開催される寿学園において、小牧警察署員と協同で啓発品を配布し、交通防犯の啓発を実施した。
- (4) 高校において自転車盗防止のためのツーロック啓発及び自転車用ヘルメットの着用に関する啓発を実施した。
- (5) 「パトロール実施中」の自動車用交通防犯啓発マグネットを区・防犯パトロール団体等に配布しました。当該車両が市内を巡回することで、犯罪の抑止及び地域の防犯力・交通安全意識の向上に寄与するため、引き続き配布していく。



- (6) 令和 2 年 3 月より通学路等に設置している防犯カメラについて、既存の 100 台に加え、令和 6 年度から 100 台を追加して稼働し、子どもたちの登下校時の安全をさらに確保できるよう努める。

- (7)「ながら見守り 2023」を令和 5 年 12 月 1 日～令和 6 年 2 月 29 日の期間で、インターネット又は窓口申込で、参加希望者に反射タスキ・反射ネックストラップ付 LED ライト等のグッズを配布した。ジョギング、ウォーキングなどの日常活動において、自身の安全確保を最優先の上、地域を巡回することで、犯罪を未然に防ぎ「地域全体の防犯力の向上」を目指し実施したところ、131 件の申込があった。

(3) 今年度の取組事項について

①交通安全・防犯対策ポスター・標語の巡回バスへのラッピング等について

今年度も引き続き市内の様々な場所を走る巡回バスに、交通安全・防犯対策を呼びかけるポスターをラッピングし、多くの市民に広報・啓発する。夏休み期間中市内小中学校の児童生徒に募集を呼びかけ、第 2 回の当協議会で委員の皆様により優秀作品の選出を行っていただきます。

《参考：ポスターのラッピング箇所等について》



②自転車乗車用ヘルメットの補助等について

自転車利用時のヘルメットの着用を促進し、自転車に係る交通事故による被害の軽減を目的として、ヘルメットの購入費の一部を補助している。(申請件数 R3:1,082、R4:1,255 件、R5:2,432 件)ヘルメットの普及、着用促進及び自転車損害賠償責任保険等への加入の PR を引き続き実施する。

③防犯ステッカーの配布について

犯罪を未然に防ぐため希望する世帯・区・事業所等に昨年度の協議会で諮問した防犯ステッカーを配布する。昨年度 400 枚ほど配布できたため、引き続き広く配布し、地域の防犯力向上を目指す。



④地域防犯カメラ補助金の見直し検討について

市内の道路等の公共空間における防犯カメラの設置及び活用を促進させ、犯罪発生の抑制を図ることを目的とし、区で設置した防犯カメラ等の購入及び設置費の一部を補助する当該制度について、R4:4 件(782 千円)、R5:5 件(732 千円)の申請があった【予算額 2,000 千円】。当初から補助率 1/2(上限額 20 万円)で実施しているが、区の負担を考慮し、さらなる普及促進を目指し、補助率及び補助上限額の引き上げを目指し、市の財政当局と調整する。